

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公表番号】特表2013-534016(P2013-534016A)

【公表日】平成25年8月29日(2013.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2013-046

【出願番号】特願2013-518803(P2013-518803)

【国際特許分類】

G 06 F 17/50 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/50 6 2 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月9日(2014.5.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

位相構造をモデリングするための方法において、

- データ処理システム(100)において、位相構造(300, 402)の定義を受信するステップ(505)であって、前記位相構造(300)は少なくとも一つの構築エレメントの定義を含むステップ(505)と、

- 前記データ処理システム(100)において、構造エレメント(302～330)の定義を受信するステップ(510)と、

- 前記データ処理システム(100)において、第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)の一つのエレメントとの幾何学的な関係を受信するステップ(515)と、

を備えており、

以下のステップA、B又はCを交互に、同時に、反復的に実施し、

- ステップA：

- 前記データ処理システム(100)において、前記位相構造(300, 402)に対する第1の変更を受信し(530)、

- 前記第1の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において、第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)との前記幾何学的な関係に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(535)、

- 前記第1の構造エレメント(302～330)の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において受信した、第2の構造エレメントと前記第1の構造エレメントとの幾何学的な関係に従い前記第2の構造エレメント(302～330)を変更し(545)、

- ステップB：

- 前記第1の構造エレメント(302～330)に対する変更を受信し(545)、

- 前記変更に応答して、前記幾何学的な関係に従い前記位相構造を変更し(550)、

- ステップC：

- 前記位相構造の第2の構造エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)の一方に対する変更を受信し(555)、

- 前記変更に応答して、前記変更に従い前記第1の構造エレメント(302～330)。

を変更し(560)、

更に、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを記憶するステップ(520)と、
 - 前記位相構造及び前記構造エレメントを表示するステップ(525)と、
- を備えていることを特徴とする、位相構造をモデリングするための方法。

【請求項2】

前記第1の構造エレメント(302～330)は構造面(302～316)であり、
前記幾何学的な関係は前記構造面と前記位相構造(300, 402)の一つの面との一致関係である、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記第1の構造エレメント(302～330)は構造縁(318, 320, 328, 330)であり、

前記第1の構造エレメントの定義は一つの構造面と前記位相構造(300, 402)の一つの面の交差部である、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記位相構造(300, 402)の定義は、前記位相構造(300, 402)の第2の構築エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)を参照する、前記位相構造(300, 402)の第1の構築エレメントの定義を含む、請求項1乃至3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

位相構造をモデリングするためのコンピュータプログラムであって、
前記コンピュータプログラムは、プロセッサに下記各ステップを実行させる、
- 位相構造(300, 402)の定義を受信するステップ(505)であって、前記位相構造(300)は少なくとも一つの構築エレメントの定義を含むステップ(505)と、
- 構造エレメント(302～330)の定義を受信するステップ(510)と、
- 第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)の一つのエレメントとの幾何学的な関係を受信するステップ(515)と、

を実行させ、

前記コンピュータプログラムは、プロセッサに更に、
以下のステップA、B又はCを交互に、同時に、反復的に実施させ、
- ステップA：
 - 前記位相構造(300, 402)に対する第1の変更を受信し(530)、
 - 前記第1の変更に応答して、第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)との前記幾何学的な関係に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(535)、
 - 前記第1の構造エレメント(302～330)の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において受信した、第2の構造エレメントと前記第1の構造エレメントとの幾何学的な関係に従い前記第2の構造エレメント(302～330)を変更し(545)、

- ステップB：
 - 前記第1の構造エレメント(302～330)に対する変更を受信し(545)、
 - 前記変更に応答して、前記幾何学的な関係に従い前記位相構造を変更し(550)、
- ステップC：
 - 前記位相構造の第2の構造エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)の一方に対する変更を受信し(555)、
 - 前記変更に応答して、前記変更に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(560)、

更に、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを記憶するステップ(520)と、
- 前記位相構造及び前記構造エレメントを表示するステップ(525)と、

を実行させることを特徴とする、コンピュータプログラム。

【請求項 6】

前記第1の構造エレメント(302～330)は構造面(302～316)であり、

前記幾何学的な関係は前記構造面と前記位相構造(300, 402)の一つの面との一致関係である、請求項5に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 7】

前記第1の構造エレメント(302～330)は構造縁(318, 320, 328, 330)であり、

前記第1の構造エレメントの定義は一つの構造面と前記位相構造(300, 402)の一つの面の交差部である、請求項5に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 8】

前記位相構造(300, 402)の定義は、前記位相構造(300, 402)の第2の構築エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)を参照する、前記位相構造(300, 402)の第1の構築エレメントの定義を含む、請求項5乃至7のいずれか一項に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 9】

少なくとも一つのプロセッサ(102)を備えているデータ処理システム(100)において、

前記プロセッサが、下記各ステップ、
- 位相構造(300, 402)の定義を受信するステップ(505)であって、前記位相構造(300)は少なくとも一つの構築エレメントの定義を含むステップ(505)と、
- 構造エレメント(302～330)の定義を受信するステップ(510)と、
- 第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)の一つのエレメントとの幾何学的な関係を受信するステップ(515)と、

を実行し、

前記プロセッサは、更に、
以下のステップA、B又はCを交互に、同時に、反復的に実施し、

- ステップA：

- 前記データ処理システム(100)において、前記位相構造(300, 402)に対する第1の変更を受信し(530)、
- 前記第1の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において、第1の構造エレメント(302～330)と前記位相構造(300, 402)との前記幾何学的な関係に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(535)、

- 前記第1の構造エレメント(302～330)の変更に応答して、前記データ処理システム(100)において受信した、第2の構造エレメントと前記第1の構造エレメントとの幾何学的な関係に従い前記第2の構造エレメント(302～330)を変更し(545)、

- ステップB：

- 前記第1の構造エレメント(302～330)に対する変更を受信し(545)、
- 前記変更に応答して、前記幾何学的な関係に従い前記位相構造を変更し(550)、

- ステップC：

- 前記位相構造の第2の構造エレメント及び前記第1の構造エレメント(302～330)の一方に対する変更を受信し(555)、
- 前記変更に応答して、前記変更に従い前記第1の構造エレメント(302～330)を変更し(560)、

更に、

- 前記位相構造及び前記構造エレメントを記憶するステップ(520)と、
- 前記位相構造及び前記構造エレメントを表示するステップ(525)と、
を実行する

ことを特徴とする、データ処理システム。

【請求項 10】

前記第1の構造エレメント（302～330）は構造面（302～316）であり、

前記幾何学的な関係は前記構造面と前記位相構造（300，402）の一つの面との一致関係である、請求項9に記載のデータ処理システム。

【請求項 11】

前記第1の構造エレメント（302～330）は構造縁（318，320，328，330）であり、

前記第1の構造エレメントの定義は一つの構造面と前記位相構造（300，402）の一つの面の交差部である、請求項9に記載のデータ処理システム。

【請求項 12】

前記位相構造（300，402）の定義は、前記位相構造（300，402）の第2の構築エレメント及び前記第1の構造エレメント（302～330）を参照する、前記位相構造（300，402）の第1の構築エレメントの定義を含む、請求項9乃至11のいずれか一項に記載のデータ処理システム。